

国家戦略特区における 近未来技術実証について

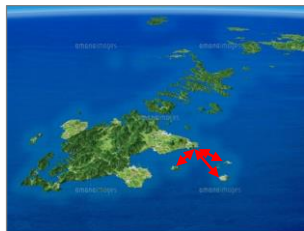
株式会社自律制御システム研究所
野波 健蔵

2017年2月21日



国家戦略特区などで進めているドローン技術実証

長崎県五島市
「離島での物資輸送」
平成29年2月～



今治市
「離島での住民向け配達実験」
平成28年10月



楽天
「ゴルフ場での物資搬送」
千葉県御宿町
平成28年5月1か月実施



千葉市国家戦略特区

平成28年4月

- ① イオンモールからの物資運搬
- ② 高層マンションへの垂直飛行

デモ① イオンモール幕張新都心からの「物資運搬」



デモ② 高層マンションへの「垂直飛行」



平成28年11月

- ③ 稲毛海浜公園の海上飛行
- ④ 都市部でのLTE電波を活用した遠隔操作



経産省・NEDO・福島県・南相馬市
「世界初完全自律制御飛行のドローン
による12.5km長距離荷物配送の実証」

南相馬市・平成29年1月

自律研、ウエザーニューズ、NEC、楽天等

現状：ドローンによる宅配事業の実証実験を行うにあたり、

- ① **「第三者（人）上空飛行」**が全く許可されない。
- ② **長距離飛行時の安全管理が困難である。**

ケース1： 稲毛海浜公園の海上飛行（700m）

第三者上空を飛行させないために、

協議した機関・団体は約20にものぼる

- ・ 監視員として相当数の人員を配置
（公園内道路を横断する際、歩行者などの通行止め、飛行区域への立入禁止）
- ・ 海上保安庁や所轄警察署、消防署などへの周知活動
- ・ 漁船やプレジャーボートの航行のない突堤内（海岸沿い）を選定
- ・ 漁協との事前調整（今回は3か所と調整） ▶ **【操業海域における立入措置は実現困難】**
- ・ ヨットハーバー（プレジャーボートの発着場）との事前調整
- ・ 当日の注意喚起

ケース2： 南相馬市の長距離海上飛行（12.5km）

飛行状態のリアルタイムな管理が困難なため、

海上飛行のドローンを漁船で追尾した

2018年までに、ドローンを使った荷物配送を可能とする

(平成27年11月 未来投資に向けた官民対話)

今後の取り組み

1. 東京湾や道路上空等、第三者上空での飛行試験
2. 通常の市街環境等(有人地帯)で長距離飛行試験を実施



前例のない実証実験を進めるために、

国家戦略特区を活用した「規制を緩和する仕組みの創設」をお願いしたい

・・・事前調整や、国交省(航空局)の許可・承認審査基準を緩和するための検討など